

○受圧版脚部浸食はアンカー工の弱点であり，相応の補強策が必要である．

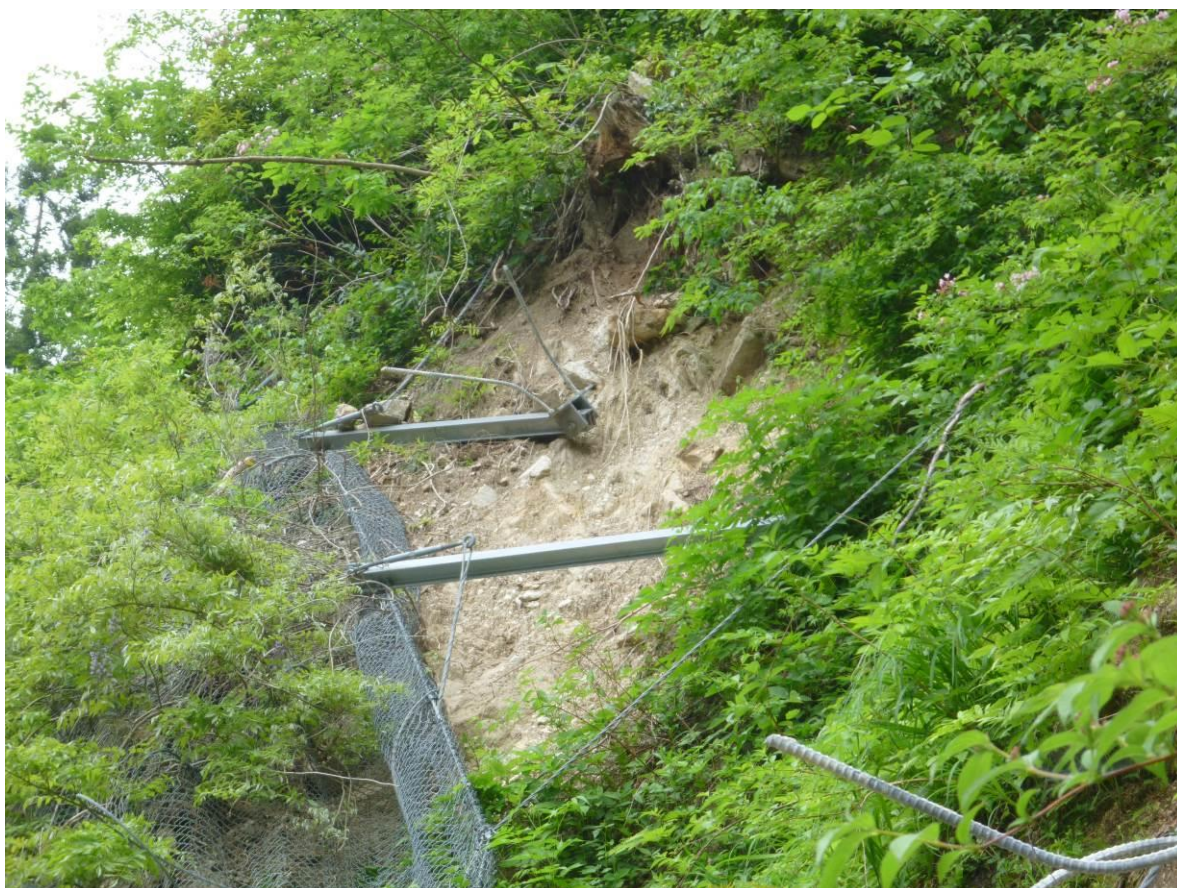


○法枠の基礎が浮いた状態・・・すべり層準が深い場合は不安定斜面に盛土した状態（不安定化）となる．



○アンカーの引抜け（ポケット式落石防護網工）

斜面はルーズな崖錐が分布するように見えるが、引き抜けアンカーは“岩用”であり、誤った使用が考えられる。→現場は積雪地帯



○岩用アンカーの引き抜け



○アンカーの引抜け（覆式落石防護網工）

…ワイヤーの弛みから，頭部アンカーの引抜けが考えられる．



○プレキャスト法枠の変状・・・泥岩からなる法面である。ステップ直下であり、水路からの漏水による浸食（土砂流出→陥没）が考えられる。



○機能しない落石防護柵（設計，施工管理，検査ミス）



○表層土の堆積で柵高（ポケット）が減少・・・このようなことを考慮した柵高の決定が必要



○復旧法面の再被災…判断ミス？



○水路（犬走）からの漏水／流入が考えられる．



○蛇籠・・・鉄線が破断した場合の処理が面倒



○モルタル吹付け・・・木本類等，早い段階で除伐が必要



○湧水箇所を中心とした剥離

